

令和6年度

第3回上尾市不登校対策推進委員会 資料



令和7年2月18日（火）

上尾市教育委員会

# 目 次

## 資料 1

上尾市民間施設等連絡会について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

## 資料 2

上尾市教育センター「不登校について語り合う会」について・・・・ 3

## 資料 3

上尾市不登校対策基本方針の改定について・・・・・・・・・・・・ 8

## 資料 4

校内教育支援ルーム（SSR：スペシャルサポートルーム）等別室利用状況について…… 9

## 資料 5

令和7年度上尾市不登校対策推進に係る取組について・・・・・・・・ 10

## 上尾市民間施設等連絡会について

### 1 目的

- (1) 民間施設等の取組や成果を踏まえつつ、より積極的な連携を図る。そのために、教育委員会においては日頃から積極的に情報交換や連携に努める。  
【上尾市不登校対策基本方針】
- (2) 不登校児童生徒を支援する民間施設等と学校、教育委員会間の連携を図り、該当児童生徒及びその保護者等への支援を充実させる。

### 2 日時

令和7年1月21日（火）午後3時00分から午後4時30分まで

### 3 場所

上尾市青少年センター会議室2・3

### 4 内容

- (1) 教育委員会挨拶及び本会実施目的の説明  
本会の目的の確認及び上尾市の不登校対策の概要説明を行う。
- (2) 情報交換「不登校児童生徒の支援と連携について」  
各民間施設での取組や、それぞれの施設及び学校への質疑応答、連携の際に起きている、支援上の課題や疑問、意見などを確認し、今後互いがどのように働きかけを行っていくのかについて情報交換する。

### 5 参加者

- (1) 「上尾市 保護者情報提示リーフレット」に掲載している施設の代表者  
ムーミンの会、ペンギンの部屋、訪問看護ステーションはるか、N中等部、フリースクールHIRO、星槎学園中等部、第一学院中等部、フリースクールスコレ・ムーンライト、フリースペースアトリエコルト
- (2) 上尾市立小・中学校長を代表する者  
小・中学校校長会会長
- (3) 教育委員会事務局職員  
教育センター所長、主幹、副主幹

### 6 感想・意見（別紙）

### 7 次回に向けての検討事項

- (1) 令和7年度は、2回程度実施予定である。
- (2) 実施内容については、アンケートを参考に以下の中から、今後検討する。
  - ・各民間施設による支援の具体例や課題などの共有について
  - ・学校と民間施設の連携などの共有について
  - ・支援が必要な児童生徒及び保護者への情報提供の行い方について
- (3) 校長会をはじめとする学校からの参加者について

## 「上尾市民間施設等連絡会」参加団体アンケートまとめ

### 1 当日の感想

- ・民間施設等でそれぞれの特色を情報交換ができ、学校が抱えている具体的なケースも聞かせていただいた。
- ・不登校対象の訪問看護等、さまざまな民間施設の話聞いて、大変参考になった。
- ・他の様々な支援団体や機関と顔合わせをすることができて良かった。小中学校の校長会会長が参加されていたことも嬉しく感じた。
- ・上尾市の取組や色々な団体の様々な活動内容を資料とともに、まさに現場で行われている詳しい活動内容をたくさん見聞きすることができ、学校に行けない子どもたちに対するアプローチが様々なことを学ばせていただいた。
- ・不登校児童・生徒に関わる関係機関がこれほど多くあることに驚いた。
- ・それぞれの機関が子どもたちのために熱心に活動しているのも、お互いのことをもっと理解し、連携が必要だと感じた。
- ・様々な民間団体の方のご紹介をいただき、これまで知らなかった情報を得ることができたとともに様々な角度から子どもたちにアプローチできると思った。
- ・利用者への支援の中で「外も少しなら行ってもいいかな」と思えたとしても「学校は行けない」という対象者が繋がる場との情報共有ができた。

### 2 次回以降の希望など

- ・必要な人に必要な情報をどのように届けるか。
- ・せっかくの機会なので、他の施設の話をもっと聞けるように、できれば年2回程度の開催があればよい。
- ・在籍する学校との連携の取り方や民間施設同士の連携の回り方
- ・ケース会議的に、その子の対応について、どのような施設が合っているのか検討したい。
- ・現場での人手不足や対応困難な状況があるのとのことなので、支援困難ケースなど事例検討会や、各団体・組織の課題などを共有する情報交換会
- ・色々なタイプの子どもに対して効果のあったアプローチの実例などを聞きたい。
- ・実際不登校になってしまっている児童・生徒や、苦勞されている保護者の方、学校現場で日々奮闘されている先生方等の思い等の現場の実情を知り、それを参考にディスカッションしたい。
- ・事例を元にさまざまな角度からどうアプローチをするかなどが話し合い、より民間団体との協力が具体的に見えてくるように事例検討会をしてどうか。
- ・現在の環境では、不登校の子供たちが学校以外に行ける場も少ないため、子供たちの居場所作りや疾患を抱える本人ならび家族の支援について検討したい。

### 3 その他の意見など

- ・民間施設等の交流だけでなく校長先生に参加いただけることはとても意味があると感じた。引き続きお願いしたい。
- ・校長先生方は忙しいとは思いますが、民間施設に通っている生徒の学校の管理職に出席していただければ、もっと民間施設の理解が深まるのではないかと思います。
- ・親も子も本当は学校に行けたらいいと思っていると感じる。学校に、不登校の子が通える静かな教室、賑やかな教室、勉強する教室、クールダウンできる教室があると登校できる子どもが増えるのではと感じている。

## 上尾市教育センター「不登校について語り合う会」について

## 1 目的

- (1) 不登校児童生徒の保護者が交流できる相談会等を開催し、保護者の不安解消及び家庭における具体的な支援の充実を図る。【上尾市不登校対策基本方針】
- (2) 学校に登校できないあるいは登校が難しい子を持つ保護者同士が語り合い、気持ちや情報を共有することで今後の活力とする。

## 2 日時

令和6年11月27日（水）午前10時00分から午前11時00分まで

## 3 場所

上尾市教育センタープレイルーム

## 4 内容

- (1) 教育センター紹介  
教育センターの主要事業である教育相談及び学校適応指導教室について紹介する。
- (2) パネリストによる不登校の体験談「不登校当時を振り返る」  
小学校及び中学校で不登校を体験した大学生とその保護者をパネリストとして、インタビュー形式で不登校当時の気持ちや状況等について話を伺う。
- (3) グループ交流「聞いてください、私の話」  
3人から4人のグループに分かれて、現在の子の様子や悩みを互いに語り合う。

## 5 その他の内容

- (1) 参加募集については、Google フォームを使用し、学校メール配信システム（さくら連絡網）で、上尾市立小・中学校保護者に一斉送信した。
- (2) 実施時間は、午前10時00分から11時00分までとし、その後教育センター内の案内や、個別相談を実施した。
- (3) プレスリリースし、当日は新聞社2社が来所した。

## 6 参加者

小学校 9名（1年2名、3年1名、4年1名、5年1名、6年4名）

中学校 13名（1年6名、2年6名、3年1名）

※小中で重複者1名、キャンセル7名

## 7 個別相談実施者

小学校 2名（4年1名、6年1名） ※うち1名教育センター教育相談

中学校 5名（1年3名、2年2名） ※うち1名教育センター適応指導教室見学

## 8 感想・意見（別紙）

## 9 次回の予定（令和7年2月14日に実施済）

- (1) 話題提供として、「新年度を見据えて」をテーマに、教育センター職員（教育心理専門員）による講話を行う。

- (2) 全体でのアイスブレイクを行った上で、グループ交流を40分程度行う。各グループにはセンター職員がファシリテーターとして同席する。
- (3) グループ交流後には、発表によるシェアリングを行い、参加者が広く情報を得られるようにする。
- (4) グループ交流終了後には、希望者に教育センター見学会、個別相談受付（相談自体は後日）を行う。
- (5) 協力していただける方に、アンケート（Google フォーム）記入を依頼し、次回以降の参考にする。

#### 10 今後の見通し

- (1) 令和7年度は年間2回の実施を予定している。
- (2) 第1回を夏頃に実施し、不登校経験者による体験談を中心に行う。
- (3) 第2回を秋頃に実施し、参加者同士の交流を中心に行う。

## 「第1回不登校について語り合う会」保護者アンケートまとめ

### 1 全体を通して

満 足…43.8%  
やや満足…43.8%  
やや不満…12.5%  
不 満… 0.0%

### 2 パネリストによる体験談について

満 足…81.3%  
やや満足…12.5%  
やや不満… 0.0%  
不 満… 6.3%

### 3 グループ交流について

満 足…25%  
やや満足…43.8%  
やや不満…31.3%  
不 満… 0.0%

### 4 次回以降に取り入れるとよい内容

- ・困っている内容ごとにグループを分けるなどして親同士の交流だけにしてほしい。
- ・子どもが留守番できず参加できない人もいると思うので、子ども向けのイベントとセットにするなど方法を考えてほしい。
- ・フリースクールのスタッフさんも交流に呼ぶなどして話を聞けるようにしてほしい。
- ・悩み苦しむ子供の気持ちを理解しサポートするための心理学的知見  
→レジリエンス、ストレスコーピング
- ・今小学生ですが、中学や高校の紹介など、実際に通われている生徒さんがいれば話も聞いてみたい
- ・学校、家以外で過ごせる場所の情報
- ・家から出ることの出来ない不登校児童生徒に対するセンターの取組を知りたい
- ・起立性調整障害で不登校であるため進路先が不安。どんな選択肢があるのか、詳細を知りたい。
- ・他の方の家での過ごし方を知りたい。
- ・パネリストへの質疑応答の時間がほしかった。 3
- ・グループ交流の時間がもう少し長くあるとよい。 8

## 6 その他

### <全体を通して>

- けやき教室の存在を知ることが出来、個別相談にもものって頂き、ありがとうございました。
- 会の終了後に、施設案内や個別相談があったのもありがたかった。
- こんなにも多くの家庭が同じような問題を抱えていて、自分よりも大変な方も多いのだと知った。相談する機会も頂けたので、少し気持ちが楽になった。また機会があれば参加して、自分の生活に活かせたらいいと思った。丁寧に対応してくださりありがとうございました。
- 教育センターのみなさま、今回は良い機会をありがとうございました。なかなか地元で不登校の親同士が出会える場もないので、ありがたかった。偶然にも子供たちが幼稚園くらいに仲良くしていたママ友に再会する事が出来た。
- このような場を求めています。不登校の保護者も孤立感を感じています。同じ境遇の保護者と話せる場はとてもありがたいです。1時間の枠ではとても短く感じました。もっと話ができると良かったです。このような企画を考えてくださったことにとても感謝しています。ありがとうございました。体験談、グループ交流はどちらも良かったです。
- 今日はありがとうございました。このような会に参加するのが初めてだったので緊張しましたが、同じ悩みを持つ方と出会えたので、とても満足した会でした。
- 同じような状況の人でグループにさせていただいていたのが、話しやすく有りがたかったです。

### <体験談について>

- 実際に不登校を経験された方のお話を直接伺える事ができ、胸が熱くなりました。
- 心の中の思いを言葉で表現するのは難し、多くの人前で話す勇氣も必要でしたでしょうに、パネリストの方々が一生懸命言葉を選んで話してくださっていたのが印象的だった。つらかった当時の本音や、つらかった過去も経験として今後につなげようという今の気持ちまで教えてくださり、私自身も引き続きがんばって見守ってみようと思った。貴重な経験を話してくださり、またお話を聞ける機会を設けてくださりありがとうございました。
- すごく良かった。パネリストの親子さんのお話はとても深く当事者ならではのお話でなかなか聞けないものだった。普段不登校の親御さんと知り合える機会もないのでお話できたのもとても嬉しかった。
- とてもよかったです。壮絶な体験を語ってくれたパネリスト、2~3人の集まりにも行き辛かったという話から、大学へ通い将来のこともしっかりと考えている現在の姿に、希望をもらった。
- パネリストのお二人、貴重な体験談をありがとうございました。不登校のお子さんが、心理に興味を持ち、心理学を学ぶストーリーは数多く聞くのですが、カウンセラーのような仕事は聴く側もリスクがある事にパネリストが気づき、今は一般的な



仕事を探されている、と聞いて、それは本当に経験したからこそその答えだなど、思った。お母様の迷いながらも一生懸命お子さんに寄り添い、見守りながら進まれてきた体験談は、今不登校対応に疲れてしまった私に、改めてやる気を与えてくれた。ありがとうございました。

#### <改善等>

- ▲内容は特に変えなくても良いとは思いますが、やはり時間が短かった。
- ▲グループ交流の時間があつという間で自身の事もほとんど話が出来ず、同じ環境下にある親御さんのお話をもっとお聞きしたかった。
- ▲グループ交流の時間がもう少し長いと、中身のある話ができる。
- ▲緊張しやすいので少人数でのお話はしやすかったのですが、大勢の中なので聞こえづらかったりした。
- ▲自分の子が不登校になりたてのとき、こうすればよかったと後悔してる事がたくさんあるので、一緒に話し、まだ不登校になりたての方に伝えられればと思う。また中2、中3のお子さんがいらっしゃる方からもお話を聞いて参考にしたかった。

#### <意見等>

- ・共働きで平日日中に子供と接する時間がないので、家から出られるようになった時に学校や家以外の活動場所があればよい。

## 上尾市不登校対策基本方針の改定について

### 1 目的

令和5年3月に策定した上尾市不登校対策基本方針について、一部内容に追記及び修正を行い、上尾市の不登校対策の現状に沿ったものに改定する。

### 2 追記及び修正箇所

- (1) 校内教育支援ルーム（SSR:スペシャルサポートルーム）について  
→P7及びP8
- (2) 民間施設等に関するガイドラインについて  
→P7

### 3 今後のスケジュール

- 令和7年2月 上尾市不登校対策推進委員会で協議
- 令和7年3月 上尾市定例教育委員会に報告

## 校内教育支援ルーム（SSR：スペシャルサポートルーム）等別室利用状況

校種	利用学校数	利用人数	内訳（学年）	利用頻度（平均）	利用開始時間	利用時間	利用内容（具体）	利用時以外の過ごし方
小学校	17	44	1年 0	週 1 9	8:15 21	1h~ 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自習 →プリント・ドリル等</li> <li>・オンライン授業参加</li> <li>・教師による個別指導</li> <li>・折紙、絵画・軽運動</li> <li>・給食喫食</li> <li>・個別相談</li> <li>・気持ちを落ち着かせる</li> <li>・過敏さへの対応</li> <li>・教室復帰のための練習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教室で過ごす →給食・掃除・朝の会 ・帰りの会・テスト等</li> <li>・保健室での自習対応</li> </ul>
			2年 7		9:00 2	2h~ 10		
			3年 15	週 2 6	10:00 6	3h~ 4		
			4年 8		11:00 3	4h~ 2		
			5年 8	週 3 8	12:00 5	5h~ 5		
			6年 6		13:00 1	6h~ 8		
				週 4 2	14:00 0	7h~ 7		
					15:00 1	8h~ 0		
				毎日 19	16:00 0	その他 不明1 不定期2 30分1		
					その他 不定期5			
中学校	9	63	1年 14	週 1 29	8:15 5	1h~ 34	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自習 →プリント・ドリル等</li> <li>・オンライン授業参加</li> <li>・給食喫食</li> <li>・定期テスト受検</li> <li>・書きぞめ実施</li> <li>・気持ちを落ち着かせる</li> </ul>	特定教科は教室 給食や掃除は教室 相談室と併用
					9:00 9	2h~ 8		
			2年 27	週 2 12	10:00 12	3h~ 7		
					11:00 5	4h~ 2		
				週 3 6	12:00 9	5h~ 2		
			13:00 12		6h~ 0			
			3年 22	週 4 2	14:00 0	7h~ 1		
					15:00 0	8h~ 0		
				毎日 14	16:00 0	その他 30分9		
					その他 不定期11			
小中合計	26	107						

## 令和7年度上尾市不登校対策推進に係る取組について

## 1 推進の視点

- (1) 校内支援体制の構築
- (2) 関係者の連携の在り方
- (3) 保護者を支えるための支援

## 2 スケジュール (予定)

令和7年4月	・第1回さわやか相談室相談員研修会
5月	・教育センター学校訪問及びさわやか相談室訪問 (1学期) ・第1回教育相談主任又は不登校対策コーディネーター及びさわやか相談室相談員合同研修会
5～7月	・教育センター民間施設等訪問
7月	・上尾市不登校対策推進委員会委員委嘱・任命式及び第1回委員会
7～8月頃	・上尾市教育センター「第1回不登校について語り合う会」
8月	・第2回さわやか相談室相談員研修会
10月	・第3回さわやか相談室相談員研修会 ・第2回上尾市不登校対策推進委員会
10～11月	・教育センター学校訪問及びさわやか相談室訪問 (2学期) ・上尾市民間施設等連絡会 ・上尾市教育センター「第2回不登校について語り合う会」
令和8年1月	・上尾市不登校対策事業講演会 (第2回教育相談主任又は不登校対策コーディネーター及びさわやか相談室相談員合同研修会) ・第4回さわやか相談室相談員研修会
1月～2月	・教育センター学校訪問及びさわやか相談室訪問 (3学期)
2月	・第3回上尾市不登校対策推進委員会